

平成20年10月北九州CTゼミ議事録

■日時

平成20年10月14日 18:30～22:30

■会場

新日鐵八幡記念病院3階第3会議室

1. 「第3回九州放射線医療技術学術大会」演題提出者進捗状況報告

- ①「呼吸が腎動脈分岐角度に及ぼす影響」
報告者：北九州市立八幡病院 九町氏
- ②「乳房撮影装置の自動露出機構精度についての検証」
報告者：北九州総合病院 早野氏
- ③「CT-AECによる画質安定に向けた取り組み—QDFの臨床的有用性について—」
報告者：北九州総合病院 青木氏
- ④「ラージボアCTにおける被写体位置が画像に与える影響について」
報告者：北九州市立医療センター 加来氏
- ⑤「CT画像におけるアーチファクト定量評価の試み」
報告者：産業医科大学病院 大石氏
- ⑥「FPDによる三次元画像における歪みの検討」
報告者：健和会大手町病院 渡邊氏
- ⑦「頸動脈CTAにおける狭窄率測定評価の有用性」
報告者：北九州総合病院 渡邊
- ⑧「スナップショットパルスにおけるスラブの連続性についての検討」
報告者：JR九州病院 塩谷氏

2. その他

3. シンポジウムについて